

近畿学校保健学会通信

No. 74

平成5年2月1日発行
近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室
TEL 0775-37-7795, 7726
振替口座 京都6-77589

第40回 近畿学校保健学会の開催にあたって

第40回近畿学校保健学会

学会長 猪 尾 和 弘

和歌山大学保健管理センター所長

今年度の第40回近畿学校保健学会を和歌山県で開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

来る6月12日（土）を期日とし、会場を県内では大阪府へ最寄りの和歌山市内、和歌山大学教育学部附属小・中学校内として、お引き受けする運びになりました。

私は大学の保健管理を担当するようになって7年余の浅学ですが、学校保健の領域に於いて解決を期待され、或いは、委ねられる問題が年毎に多岐で広範になるありさまを深刻に受け止めています。

平成4年度から新しい学習指導要領が実施されて保健教育方針が再検討をうけ、それに基づいた新たな研究が進められていることと存じます。これ等の成果の発端をうかがわせる研究発表をお待ちいたします。

一方、学校保健の現場では、社会全般での疾病観の変遷や予防処置・応急手当についての通念の変化を背景として、保健職域に対して過大な要望を寄せる風潮もみられます。

学校での保健指導から逸脱した救命措置を求められ、さらには遺漏なき救急医療機関との連携が当然の義務とされる事例も報道される昨今です。なかでも、アレルギー体質者の就学中の指導は、昔から学校医を含めた医務担当責任者が回避すべきではない難問です。

第40回学会では記念行事として、この難題を採り上げ、公開討論会を行うことにしましたので、平素から関心を持たれている方々の積極的な参加を呼びかける次第です。

また、記念行事として、更に、本学会で長年にわたり学会組織づくりと、その運営に並ならぬ努力を続けられ、今なお現役の本学会員としてご活躍中の上林久雄教授（大阪成蹊女子短大）をお招きして『学校保健活動の過去・現在・未来』と題する記念講演をお願いすることになりました。初代の幹事長ならではの貴重な体験談が期待されます。

学校保健関係の諸先生方の多数のご参加をお待ちしています。

/

第40回 近畿学校保健学会(平成5年度年次学会)開催要項

1. 学 会 長 和歌山大学 教授 猪 尾 和 弘
2. 事 務 局 〒640 和歌山市栄谷930番地
和歌山大学 保健管理センター
第40回近畿学校保健学会事務局
(事務局長 和歌山大学 助教授 宮西 照夫)
TEL0734-54-5916(直通) FAX0734-54-5917
3. 開催期日 平成5年6月12日(土)
4. 会 場 和歌山大学 教育学部附属小・中学校施設内
5. 日 程 受付:9:00～16:30
午前:3会場にて一般演題発表
午後:総会、第40回学会記念公開討論及び招待講演
・公開討論:“いわゆるアレルギー体質の指導を考える”
・招待講演:“学校保健活動の過去・現在・未来”
6. 会 費 正会員 3,000円(学会本部へ納入)
当日会員 2,000円(含資料代)
当日学生会員 1,500円(含資料代)
7. 参加申込 近畿内外を問わず、当日飛び入りでも結構ですが、返信用封筒(宛名及び62円切手貼)を第40回事務局宛送付いただければ、5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」を発送致します。
なお、一般演題発表希望者は共同研究発表者を含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務所」に入会手続きをして下さい。
※近畿学校保健学会事務所 〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学 教育学部 健康学研究室
TEL 0775-37-7795, 7726 振替口座(郵便) 京都6-77589
8. 一般演題 発表希望者は、別紙申込み用紙に必要事項を記入のうえ、平成5年3月20日
申 込 (必着)までに第40回学会事務局宛申し込んで下さい。なお、講演予稿集の
原稿締切は4月30日(必着)です。
9. 懇 親 会 学会終了後に会員の懇親会を予定しております。是非多数の会員の参加をお願いします。(会費 4,000円)

第40回学会記念行事の紹介

◎公開討論会について

〔テーマ〕 いわゆるアレルギー体質の指導を考える

司会 学会長 猪尾 和 弘 (和歌山大学教授)

〔趣 旨〕 アトピー性皮膚炎・気管支喘息・アレルギー性鼻炎など、いわゆるアレルギー体質の関与している疾患が急増しており、やがては国民病となりそうな状況です。学校保健担当者であれば、どの職域に就く人にとってもアレルギー体質の指導は悩みの種だと思われます。近畿学校保健学会は第40回の記念行事として、上記のテーマにふさわしいシンポジストをえらび、臨床研究歴の長い専門医から何が明らかで、何処で意見が分かれるのかを承り、学校保健の当事者としての当面の務めと職務上の限界をわきまえる機会に致したいと考えます。

〔シンポジスト〕〔1〕

大分大学 保健管理センター教授 中 村 晋 先生

担当テーマ：アレルギー疾患発症予防の留意点

御 略 歴：1956年 長崎大学医学部卒業

1961年 長崎大学大学院医学研究科（内科学専攻）修了

1978年 大分大学教授、保健管理センター所長 現在にいたる。

御 専 攻：アレルギー学（全般）、日本アレルギー学会、国際喘息学会、

国際アレルギー学会、国際喘息学会、アメリカ胸部疾患学会会員

著 書：重症喘息の治療（1981）（金原出版）他

編 著：アレルギー診療マニュアル（1993近刊）（金原出版）他

学 会 活 動：1）気管支喘息の臨床アレルギー免疫学的研究

2）重症喘息の背景因子と治療に関する研究

3）職業アレルギーの機序、予後、予防と治療

4）アレルギーの機序と治療

5）ペットアレルギーの生活環境における意義

6）花粉症の疫学調査

7）診療科“アレルギー科”の提言 等

特に、ソバアレルギーの研究者として有名な先生です。

〔シンポジスト〕〔２〕

医仁会 武田総合病院（京都市）小児科部長 伊 藤 節 子 先生

担当テーマ：乳幼児における食物アレルギー予防のための生活指導

－特にアトピー性皮膚炎児を中心に－

御 略 歴：昭和50年3月 京都大学 医学部 卒業

50年4月 天理よろず相談所病院 小児科レジデント

51年8月 京大小児科 研修医

52年7月 関西電力病院 小児科医員

53年4月 京都大学医学部研究科 入学

55年12月 京大小児科 助手

60年5月 医仁会 武田総合病院 小児科部長

京大小児科 非常勤講師 現在にいたる

御 専 攻：日本アレルギー学会評議員

日本アレルギー学会認定専門医（小児科）

学会活動等：小児アレルギー、免疫不全を主とした臨床研究・学会発表多数。

最近は乳幼児の食物アレルギー予防研究の最前線におられます。

〔シンポジスト〕〔３〕

大阪教育大学 教育学部保健学科 教授 堀 内 康 生 先生

担当テーマ：運動誘発性喘息と学校生活

御 略 歴：昭和39年4月 大阪市立大学医学部 卒業

44年3月 大阪市立大学医学部大学院修了

45年4月 大阪教育大学助教授

50年7月 大阪市立小児保健センター第三内科長

59年4月 国療千石荘病院小児科医長

平成4年4月 大阪教育大学教授

御 専 攻：小児科学専攻

日本小児科学会認定医、日本アレルギー学会認定医、専門医

学会活動等：日本アレルギー学会評議員

日本小児アレルギー学会運営委員

大阪府医師会アレルギー対策委員

特にアレルギー症状発現機序の研究で知られた先生です。

第40回学会記念講演の紹介

◎招待講演について

〈テーマ〉 学校保健活動の過去・現在・未来

〈趣 旨〉 戦後の学校保健活動は児童・生徒の身体的健康の保持・増進に関する疾病予防、とくに結核対策が学校保健管理と保健指導が中心であった。その後、わが国の急速な技術革新と経済発展は児童・生徒に環境汚染、運動不足、栄養過剰等にもともなう身体的な健康障害をもたらしたのみならず、生活環境の変容から精神的健康にも種々の問題が提起されるに至り、現在の学校保健活動はこれらの諸問題に対して学校教育の重要な一環として組織的活動が要請されている。今後、さらに予想される時代の変化に対応して、人間をたんに量的な存在としてではなく、質的な意味でも「トータルとしての人間」として把握した人間教育そのものを学校保健活動の重点に位置づけることが必要であろう。

本学会では、略40年間：学校保健教育の核心から離れることなく業績を残され、その間に、学会の恒常的組織確立に尽力し、会員の多岐にわたる学会・研究活動のために調整の労をとられた上林先生をお招きし、記念すべき総括を承りたいと考える。

〈招待演者〉 大阪成蹊女子短大 教授 上 林 久 雄 先生

〈御 略 歴〉 1953年 大阪医科大学 卒業
1954～1958年 大阪医科大学助手
兼大阪学芸大学助手
1958～1967年 大阪学芸大学講師
1967～1969年 大阪教育大学助教授
1969～1990年 大阪教育大学教授



この間、大学院教育研究科体育生理学講座主任、大阪教育大学保健管理センター所長、附属天王寺中・高校長を併任。

1990年 大阪教育大学退官、大阪教育大学名誉教授の称号を受く。

1990年～現在、大阪成蹊女子短期大学教授（保健室長）

医学博士 1958年 京都大学

〈御 専 攻〉 学校保健学、スポーツ医学（運動生理学）、医学史

〈学会活動等〉 日本学校保健学会理事、日本臨床スポーツ医学会評議員

日本医史学会評議員、才21回近畿学校保健会長

近畿学校保健学会初代幹事長

第40回近畿学校保健学会開催へ向けての第1回幹事会記録

日 時 平成4年11月28日(土) 午後2時30分より

場 所 滋賀大学教育学部(3F委員会室)

出席者 13名

委任状提出者 13名

議 事

1. 第40回近畿学校保健学会(和歌山)の企画について

猪尾和弘年次学会長より開催要項(案)および予算(案)についての説明があり原案どおり承認された。

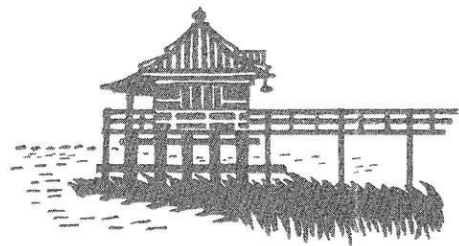
2. 監事について

幹事長より提案された監事として出口庄佑(奈良女子大)並びに白石龍生(大阪教育大)の両先生が承認された。

3. その他

事務所より地区へ連絡をとる必要上、地区代表幹事を確認した結果、改選(平成6年6月)までは以下の通りの方が承認された。

山本 公弘(奈良)	三崎 教正(神戸)	
寺田 光世(京都)	上延富久治(大阪)	
松岡 勇二(和歌山)	林 正(滋賀)	以上6名



第40回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1題1葉に記入のこと。※印欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

演題名	
発表者氏名、所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には*印)	
連絡先	TEL ()
住所	
氏名	
発表要旨 (100字ぐらいに) [キーワード]	
※ 受付番号 :	演題番号 :
原稿用紙発送 : 月 日	発表時刻 : 午前 時 分
:	会場 : A . B . C

申込み用紙不足の場合は、これと同じ様式のものをを用いて下さい。

記

- 講演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
- 発表者は原則として会費を前納して下さい。
- 演題名、発表者氏名は演題申込み用紙に記入のものをプログラム、講演集にも使用します。後刻の訂正には応じられませんので十分に検討の上、変更のないようお願いします。
- 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、1993年3月20日(土)までに第40回学会事務局あてにお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先: 〒640 和歌山市栄谷930番地
和歌山大学保健管理センター
第40回近畿学校保健学会事務局